

「コトづくりによるイノベーションの推進」

横断型基幹科学技術研究団体連合（2007年11月）

前 文

イノベーションは、我が国産業の活力の源泉であり、現在進行中の政府の第三期科学技術基本計画でもイノベーションの重要性が強調されている。一方で最近の社会の傾向として、科学技術がもたらすべき価値の重心が短期的で物質的な豊かさから、「安心安全」や「持続する発展」というキーワードに象徴されるような将来を見通した精神的な豊かさに移りつつある。それに伴って、科学技術の産業へのかかわりも、「モノ」を舞台としたシーズ指向の先端科学技術の開発と提供という役目から、「モノとモノ」の関係を「コト」ととらえる俯瞰的見方を織り込んで社会のニーズに合った方向性を的確に提起する役目へと変化している。この科学技術の価値転換を横幹連合は「コトづくり」としてとらえ、2005年に「コトづくり宣言」を採択した。そこでは、「コトづくり」の前提としての「知の統合」に向け、分野横断的課題を支えてきた横幹科学技術がその中核的役割を果たさなければならないことも宣言した。

横幹連合は、イノベーションのあり方も「コトづくり」の土壌に根差すべきであると考え、すなわち、「コトづくり」が産業競争力の源泉であり、研究開発とイノベーションの成功の命運を決定する。イノベーションの実現には、科学技術の知を統合し、社会的・経済的な価値創造に結び付けなければならない。横幹連合は「コトづくり」に基づいてこれを推進する主体となり、今後の活動で具体的なシナリオを探求していくことを確認し、以下の宣言を採択する。

宣 言

(1) 知の統合による社会的・経済的価値の創造

横幹連合は、「コトづくり宣言」を継承して真の知の統合を実現する手法を体系化し、人類が蓄積してきた知を新たな社会的・経済的価値の創造へと活用することによって、イノベーションを推進・加速する。

(2) イノベーションを推進する技術開発マネジメントの確立

横幹連合は、異分野への知の展開を促進する技術開発の的確なマネジメントにより、産業競争力を一層高め、イノベーションをより有効とする方策を、産業界と協力して確立する。

(3) イノベーションに資する横幹科学技術の構築

横幹連合は、科学技術を活用したコトづくりにイノベーションの本質があると認識し、そのあるべき姿の探求を通して、イノベーションに資するさらに高度な横幹科学技術の体系的構築に全力を挙げる。